

一九二〇年代後半のシアトル日本人社会

— シアトル小児園をめぐる一考察 —

坂 口 満 宏

はじめに

本稿は、シアトル小児園の設立問題を取りあげ、これまで本格的に論じられることの少なかった一九二〇年代後半のシアトル日本人社会とその歴史的特質を基本史料に即して考察しようとするものである。まずは、本稿の課題についてのみみてみたい。

その第一は、シアトル日本人社会史研究に〈子供〉とりわけ「幼児」の問題を取り込んでみることである。

一九二〇年代以降の在米日本人史研究の重要な分析対象に「第二世問題」がある。「第一世問題」とは市民権を持ち得ない一世から見た日系二世の将来や処遇問題——二世の二重国籍問題、日本語教育、各種青年団体の保護育成問題など——の総称で、そこにはいかにして二世の市民権を守るかという一世たちの思いと葛藤が凝縮されている。この問題に関してはすでにユージ・イチオカ氏によって多くの先駆的な研究がなされており、学齢児童に対する日本語教育・国語学校問題、大きく成長した二世たちによる日本見学問題そして帰米問題などが論じられてきた。⁽¹⁾しかしイチオカ氏にあっては幼児の問題までは十分に分析の対象とはされてこなかった。本稿ではこうした「第二世問題」研

究の一角に幼児問題を取り込むことを提案するとともに、そのケーススタディとしてシアトル小児園をとりあげるものである。

確かに幼児では作文を綴ったり、自らの意見を述べたりすることはないかもしれない。また本稿においても子供たち一人ひとりの姿を個性豊かに描くことはできていない。しかし一九二〇年代半ば、六歳以下の幼児人口が日系社会全体の二〇パーセントを占めるにいたり、やがてその子たちが成長し、国語学校や青年団体とのかわりを持つことになることを考えると、「第一世問題」の総体を把握するうえでも一世の目に映った幼児問題を踏まえておくことはあながち無意味なことではないだろう。

第二に、第一次世界大戦期のアメリカ社会を席巻した「アメリカニズム」問題に対する日本人社会の対応の一つとして幼児問題・小児園問題を位置付けてみたいと思う。この点については北溟漁郎（川尻慶太郎）に「在留同胞児童の教育」（『大北日報』一九二二年一月一日新年号）という興味深い論説がある。その冒頭で川尻は、第一次世界大戦に参戦したアメリカが、戦後、自国民に兵士不適合者と不同化分子が多いという二大欠陥に気づき、この二大欠陥を補うため「幼稚園教育を盛んに興すこと、米化主義の教育に力を入れること、を考へだした」と指摘している。

一九二〇年代の在米日本人社会における保育事業がアメリカの保育政策にどのように位置付けられていたか、という点については今なお不明な点が多く、すべては今後の研究を待たねばならない。だがおよそ行政の側では右のようなイデオロギー政策のもと、日本人の保育事業に対しても低所得者向け公立託児所の設置基準に即した行政指導を行い、日本人の側もその指導に応じることでホスト社会との共存をはかっていたものと思われる。本稿で述べるシアトル小児園の直接的な設立契機もワシントン州幼稚園協会ならびにシアトル市からの強い行政指導を受けたことにあり、一九二〇年代半ば、幼稚園問題・保育事業がマイノリティ政策かつイデオロギーの問題として重視されていたことに注目しておきたい。

そして第三は、ホスト社会との共存・定住を志向した一世たちによる新たな社会的結びつきの諸相——いわば一九二〇年代後半型の社会的結合の有り様を考えることである。

一般に移民が社会的結合を強めるのは、ホスト社会との文化的差異が大きすぎて適応が困難と考えられた場合、人種の偏見による排斥運動が強い場合、それに故国から常に豊かな物産と情報、渡来者が供給されている場合という三要因に起因する。シアトルの日本人社会もこうした三要因を相互にからめつつ、そこに素朴なナショナリズムを育成し、各種団体・諸組織の充実と発展をとげ、移民社会としての内的凝集力を形成してきた。

ところが二〇年代後半はこうした日本人社会の諸結合を促してきた三要因に大きな変化をきたした時代である。第一に人種の偏見による排斥運動は一九二〇年代前半までに法制面での排斥体制が完成したことにより、少なくとも二〇世紀初頭のような暴力的な排斥運動は鎮静化した（私はこれをアメリカにおける日本人移民政策のワシントン体制と呼んでいる）。第二に、第一の結果として、日本からの新たな渡米者も移民に関しては全く禁止され、そのため日本から新たな構成員を補給することができなくなった。そして最後にホスト社会の言語で公教育を受ける二世が増えはじめたことや一〇数年以上におよぶアメリカ生活の長期化により、日本人社会もホスト社会とのコミュニケーションを可能にし、文化的差異をわずかながらでも小さくしていった。こうした日本人社会を取り巻く環境の変化は、まず移民の社会的結合の理念や方法も変化させたものと考えられる。一九二五年七月に発足したシアトル小児園は、かかる日本人社会の大きな転換期にあって、ホスト社会と日本人社会の双方に開かれた団体として設立されたものだけに、一九二〇年代後半型の社会的結合の有り様を考える格好の素材になると思われる。

主な史料はワシントン大学図書館が所蔵する北米日本人会史料（The Japanese Association of North America Records 以下JANAと略す）と『大北日報』である。これらを基軸にシアトル小児園に関する歴史像を具体的に再構成してみようと思う。

1 統計に見る日系二世と保育事業

(1) 増え続ける日系児童

年齢別人口の推移

まずは一九二〇年代のワシントン州に在留する日本人の年齢別人口の推移から見てみよう

(図1、2参照)。この統計に対応するシアトル市内在住の日本人人口については把握できていない。各年齢層のおよそ半数がシアトル市内在住の日本人、残りがワシントン州郡部に居住する日本人人口の総計とみてもらいたい。

図1 ワシントン州在留日本人年齢別人口の推移

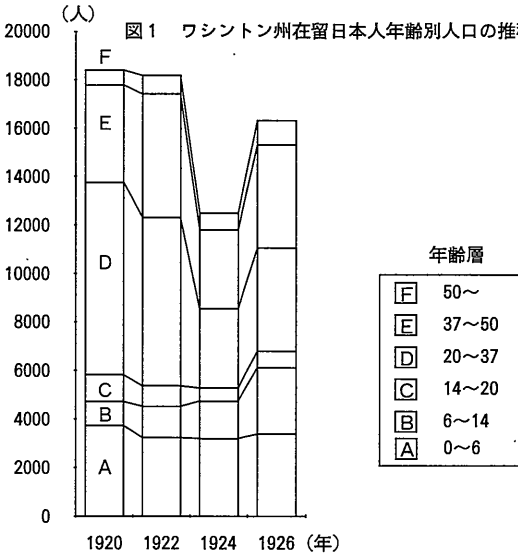
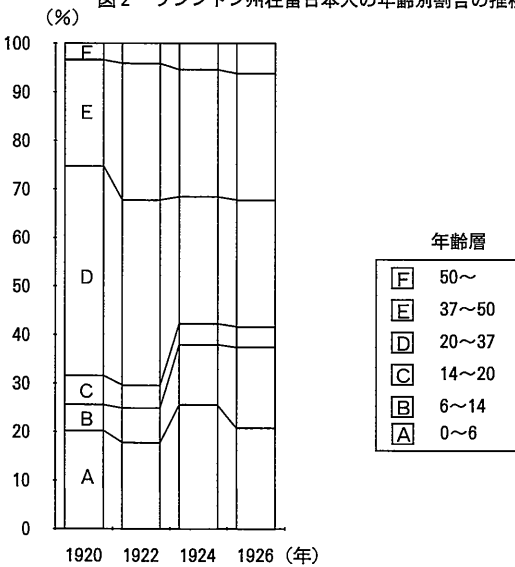


図2 ワシントン州在留日本人の年齢別割合の推移



(注) 1920, 22, 24年は米国西北部聯絡日本人会による各3月1日現在の調査値。1926年の数値は同日本人会による6月30日現在の数値。

[典拠] JANA⑥-1448~1451, 1490, 1590, 1674。

各年ごとの総人口は、一九二〇年一万八四〇一、二二年一万八一七〇、二四年一万三三四一、二六年一万五二八一人。一九二四年に急激に人口を減らしていることがわかる。これは外国人土地法（一九二二年）、移民法（一九二四年）の制定によって在米日本人の政治的・経済的諸権利が不当にも制限されたため、アメリカでの生活に見切りをつけ日本へ帰国した者が相当数いたこと、また新たなビジネスチャンス求めてカリフォルニア州や南米へ転出したものが多数いたことによる。流出した年齢層では二〇代から五〇代の働き盛りが最も多く、一九二二年に一万二〇四四人（全体の六六・三％）いたこの年齢層は二四年には七二九〇人（同五五・一％）となり、五〇〇〇人近い減少となった。とりわけ二〇代から三七歳にかけての層の減少が顕著であった。

これに対して漸次その数を増したのが一四歳以下の児童層である。なかでも六歳以下の幼児の全人口に占める割合は二〇％前後に達し、壮年層の激減した一九二四年には総人口の二四％となった。こうした児童層の増加は日本人社会が好景気にわいた一九一〇年代後半、日本から呼び寄せられた日本人女性がつぎつぎと身籠り、二〇年代前半に出産ラッシュを迎えたことの反映である。他方、五〇歳以上の高齢者の割合も徐々に増えはじめている。こうして一九二〇年代後半は、児童人口と老人人口の増大にともない、二世の保育・教育問題とパイオニア移民の養老問題が同時に進行する双子の課題として、日本人社会に課せられるのである。養老問題については別稿を期することとして、ここでは二世に対する保育問題に焦点をしばってみたい。

「日本人」園児と高い通園率　そこでシアトル市内の「日本人」園児と幼稚園との関りをみてみよう。表1はシアトル市学務局によるシアトルの公立幼稚園に通う「日本人」園児数の推移を示したものである。典拠文献には「日本人」園児と記されているためそのまま表記したが、その内実は純然たる「日本国籍」保持者よりも、アメリカで生まれことにより二重国籍となったもの、もしくは「アメリカ国籍」のみの日系二世が多いと考えられる。

公立幼稚園に通う「日本人」園児の数は年を追うごとに増えつづけ、総園児数に占める割合も増している。この特

徴は表2「シアトルの公立小学校児童数」にみる「日本人」児童数の割合と比較してみるとより一層明らかである。「日本人」児童を除くいわゆる白人児童の中に占める公立幼稚園出身者はおよそ三五人に一人程度であるが、「日本人」児童に占めるそれは五、六人に一人という割合である。また公立小学校児童数に占める「日本人」児童の割合は三％程度にすぎないが、公立幼稚園総園児数に占める「日本人」園児のそれは二〇％に近い。

さらに一九二四年当時のシアトル市内には、公立幼稚園のほかにも表3が示す日本人のキリスト教会や個人経営による幼稚園ならびに託児所があった。こうした施設に通う園児も加えるならば、シアトルに在住する六歳以下の日系幼児のおよそ四人に一人が通園していることを示している。こうした事実から小学校就学前の同年齢児童のなかでも「日本人」児童の公立幼稚園への通園率がきわめて高いといえそうである。

一般にアメリカ社会では幼児の保育は家庭で母親によって行われるべきだという「伝統的な保育観」が支配的で、小学校に上がる前に幼稚園——文字通りのプリスクールやキンダ——に通わせる家庭は多くないといわれている。こうした観念が白人の通園率を低くしている要因だろう。白人に比して高い日系幼

表1 シアトルの公立幼稚園園児数

年度	園児総数	「日本人」園児総数	男女内訳	
			男	女
1921	1,221	137 (11. 2)	75	62
1922	1,250	103 (8. 2)	48	55
1923	1,241	145 (11. 7)	75	70
1924	1,292	239 (18. 5)	106	133
1925	1,422	312 (22. 0)	151	162

(注1) シアトル市外務局統計。

(注意) ()内は園児総数に占める「日本人」園児の割合％。

「日本人」園児にはアメリカ生まれも含まれる。

〔典拠〕『北米年鑑』(1928年版) 82ページ。

表 2 シアトルの公立小学校児童数

年度	児童総数	「日本人」園児総数	男女内訳	
			男	女
1921	36,243	880 (2. 4)	529	351
1922	36,759	962 (2. 6)	550	412
1923	36,916	1,116 (3. 0)	639	477
1924	38,777	1,264 (3. 2)	687	577
1925	39,470	1,392 (3. 5)	753	639

(注1) シアトル市外務局統計。

(注意) ()内は児童総数に占める「日本人」園児の割合%。

「日本人」園児にはアメリカ生まれも含まれる。

[典拠] 『北米年鑑』(1928年版) 82ページ。

表 3 シアトルの日本人幼稚園 (1924年 3月)

名 称	後援団体	幼児数	教員数	
			アメリカ人	日本人
日本人浸礼教会幼稚園	日本人浸礼教会	65	0	2
日本人美以教会幼稚園	日本人美似教会	30	0	1
宮小児園 (1)	宮 武個人経営	132	1	1
宮小児園 (2)	宮 武個人経営	65	1	3

(注) 米国西北部聯絡日本人会1924年 3月 1日現在の集計値。

但し、宮小児園 (1) は1922年、同 (2) は1924年の数値。

[典拠] JANA ⑥-1496、1597

児の通園率。これはいったい何を意味しているのだろうか。ここに共稼ぎ出稼ぎ労働者としての日本人移民の姿——豊かな生活を夢見て渡米した女性たちも夫と共に働き続けなければならなかった移民の現実が反映されているのではないだろうか。以下、この問題も含めてシアトル日本人社会における保育事業をみてみよう。

(2) 日本人移民の保育事業

ここでシアトルにおける日本人の保育事業について概観しておく。

日本人浸礼教会幼稚園　日本人浸礼教会は一八九一年に創立されたシアトルで最も古い日本人キリスト教会である。目下、その付属施設である幼稚園の創立時期は不詳である。おそらくきわめて早い時期から婦人ホームと関連させて運営されていたことだろう。一九二二年同教会は会堂を新築し設備を拡充したが、その時にも幼稚園室は備えられていた。⁽⁴⁾ 西北部聯絡日本人会の調査(前掲表3)によれば一九二四年当時六五名の児童を収容し、日本人教師が二名いた。

日本人美以教会幼稚園　この幼稚園の創立時期も不明である。日本人美以教会は一九〇四年に設立されているので、浸礼教会と同様、婦人ホーム、日曜学校の一環として早くから幼稚園が営まれていたことだろう。『教界時報』には「一九二二年当時日曜学校には一坂口) 目下百七十七名の在籍児童で平均百名内外が毎日曜日に出席致してをります。前月から私共の幼稚園教師スターリング夫人の外に松下夫妻、元成夫人等を加えて⁽⁵⁾ 拾五人の教師が熱心に教へてをられます」との記事がある。また一九二四年の『大北日報』には「美以教会の幼稚園は来る九月二日から開始す。時間は午前十時より午後三時十五分迄とし四歳以上の御子さん達の入園を希望す。申込はワシントン街一二三六の同園へ直接にあり度しと」⁽⁶⁾の広告が見える。一九二四年、日本人教師は一名、三〇名の児童を収容していた。

メリノール小児園 (メリノール小学校付属幼稚園)

メリノール教会は白人によるカトリックの女子修道院で、日本人児童のために小学校と幼稚園、孤児院を経営していた。幼稚園の日課は、毎朝九時自動車で子供を迎え、ランチを食べさせ、夕方五時各家庭にまで送り届けるというものであった。一九二二年の園児は八〇名ほどで、日本人の女性一名がボランティアで子供の世話にあたっていたという。託児料は一人につき一ヶ月二ドル五〇セント、一日一〇セントの割であった。⁽⁷⁾ 一〇年後の託児料も幼稚園二ドル五〇セント、小学校二ドルで、採算を度外視した社会事業であった。⁽⁸⁾

宮小児園　これは一九一八年八月宮武によって設立された個人経営の小児園である。⁽⁹⁾ 一九二三年一〇月以降、北米日本人会から月額五〇ドルの補助を受けたが、財政は慢性的に赤字であった。一九二四年一月現在の園児数は九五名 (男児五五、女児四〇)、女性教師は四名 (日本人三、アメリカ人一) であった。⁽¹⁰⁾ 後述するように施設の衛生環境は極めて悪く、そのためワシントン州幼稚園協会から改善勧告がだされ、シアトル市衛生局からは環境改善がなされないことを理由に閉鎖命令を受けた。その結果、宮小児園は一九二五年一〇月一度解散、園児の多くは新たに設立されたシアトル小児園に移った。一九二七年一月宮武は独自にタマ小児園を新設するが、一九三二年一〇月一日、シアトル小児園と合併してシアトル・タマ小児園となった。⁽¹¹⁾ 宮武の人物像については不明な点が多い。⁽¹²⁾

シアトル小児園　これが本稿の対象とする小児園で、シアトル日本人社会の総力を集めて創られた託児所である。宮小児園の閉鎖に伴い父母の切実なる思いとシアトル在留日本人の総意によって一九二五年七月一七日シアトル小児園維持会が発足、経営の母体となった。一九三二年一〇月タマ小児園と合併し、シアトル・タマ小児園となる。

以下、宮小児園の閉鎖問題とシアトル小児園の発足経緯についてみることにしよう。

2 宮小児園の閉鎖問題とシアトル小児園の発足

(1) 宮小児園の実状とワシントン州幼稚園協会の閉鎖勧告

宮小児園の実状 上述したように宮小児園(シアトル小児園とも称していた)は一九二四年一月現在九五名の園児を収容していた。しかし、さすがに手狭になったのだろう、翌年一月、「当小児園は今迄南第六街に設けありしが狭隘を告げ申込の児童を収容する能はざりしが今回日本病院跡を借受け候。就ては児童依托の申込に応じ可申候間此段広告候也。／一月五日／南第十二街日本病院跡／宮小児園」という移転広告をだし、日本病院が所有していた敷地建物の跡地に移った。

日本病院は一九〇七年、仏教開教使の藤井芳信が中心となり、仏教信徒その他を株主として組織された病院で、白人の病院に入院したくても費用がなく、英語もままならない日本人労働者のために開業されたものであった。創立当初は出稼ぎ日本人の疾病を手当する病院として大いに利用されていたが、その後日本人医師による開業も増え、日本人社会が拡充し、構造的に変化しはじめたため「最早特別に日本病院の存在を必要とせざるに至りたる」として、一九二四年八月、株式組織の解散を決めた。解散時の入院患者数は九名で、その内訳はアメリカ人一名、中国人一名、他が日本人であった⁽¹³⁾。敷地と建物はシアトル市の東南部のこだかい岡の上にあった。そこに宮小児園が移ったのである。

しかし託児環境は決して良くはなかった。一九二四年四月、ワシントン州幼稚園協会 (Washington State Kindergarten Primary Association) がシアトルの日本領事にあてた宮小児園閉鎖勧告書には、同小児園の様子が次のように記されていた(抜粋)。

Six years ago there was started a Japanese day nursery. At first it was very small, and the building and equipment were negligible. As the number of children increased, additional room was needed, until finally it came to occupy its present quarters, a former shop building. There were one hundred children cared for. They begin to arrive as early as six-thirty in the morning, and some remain as late as seven in the evening. Their ages vary from four and one half months to five years. Some children who attend the public schools in the vicinity are there a [sic] outside of school hours. The conditions are deplorable, for too many being crowded into a small space, with neither sanitation nor facilities for such work.

The nursery occupies four stores rooms, which have bare, dirty floors, no ventilation, little light, no heat and no sanitation provisions. The yard at the rear is below the street grade, and has, consequently, constant seepage of water. No provision is made for lunches, the children eating cold lunches. The only sleeping accommodations are two small cribs and a temporary bed made on a table, to supply all the one hundred children. The insanitary conditions have already caused the illness of teachers, workers and children, relief for which can be obtained only by immediate weekly visits of a nurse.⁽⁵⁷⁾

これによれば宮小児園は生後四ヶ月余りの乳児から五歳の幼児および学童も含め一〇〇名あまりの子供を、早朝の六時三〇分から夜七時まで、四つの小さな部屋で託児していたが、床にはカーペットもなく木肌がむきだしそのまま汚れており、室内の換気も悪くて薄暗い。昼寝のためのベッドも不十分で、テーブルの上で寝かせていたという。また

温かい昼食をこしらえるための厨房設備もなく、裏庭にはいつも水が溜まっている。こうした不衛生な環境のため教職員や子供たちも病気になるようになっていたようである。

このように宮小児園の劣悪な環境を指摘した幼稚園協会は、シアトル市衛生局 (The Board of Health) によって同小児園は閉鎖されねばならないと進言すると同時に、今後も小児園経営を継続するならば、少なくとも一階には事務室、トイレのついた最年少児用の託児室、完全な設備をもった幼稚園室、食堂と台所、二階にはトイレと浴室、きちんと仕切られた寝室、伝染病の疑いのある児童を隔離する病室、地下室には運動場と暖房設備を置き、全ての床には掃除しやすい軍艦用リノリウムを敷き詰め、屋外には雨天でも遊ぶことのできる屋根付きの小屋それに砂場や遊び場にふさわしい遊具が備えられねばならないとした。¹⁶⁾

北米日本人社会部の対応　ワシントン州幼稚園協会から閉鎖勧告を受けた日本領事はただあわてふためくばかりで、なすすべもなくこの問題を北米日本人社会部に通報した。領事から連絡を受けた北米日本人社会部は一九二五年四月二七日、小児園問題を討議するにいたり、ここにおいて小児園問題がはじめてシアトル日本人社会全体の問題となったのである。当日の重要な発言を列記すれば以下の通りである。

「(奥田平次) デーナスリーとせざるべからず。幼稚園としては不可なり。幼稚園なれば美以教会其他の教会にあれど、労働者のために幼児を托する場所を要するなり」

「(竹内幸次郎) 宮君は親を主とし親の便宜を計る為になしつゝ、あるものにして子供を主としたるものに非ず」
「(伊東忠二郎) 我等は宮小児園を眼中に於て協議を進めざるべからず」¹⁷⁾

宮小児園が生後半年にも満たない乳児を預り、早朝から夜半まで託児していたのは、シアトルという都市部で共稼

ぎする日本人夫婦または母子家庭の便宜をはかろうとしたためであった。そうした宮小児園を閉鎖し、新たに幼稚園を創ったとしても、一般の教会付属幼稚園と同様の託児条件——預かる子供は四歳児以上、託児時間は午前一〇時から午後三時過ぎまで——としたのではとても親の便宜にはならないと考えられた。その結果、「我等は宮小児園を眼中に於て協議を進めざるべからず」「デーナスリーとせざるべからず。幼稚園としては不可なり」という基本方向が確認されたのである。

しかし「デーナスリー」として託児業務を継続するための条件は厳しかった。一九二五年五月一日、シアトル市衛生局から宮小児園に対して出された改善条件は次の八項目で、「来週中に出来なければ直ちに閉鎖を命ず」という過酷なものであった。

- 一、床を作り直す事。
- 二、トイレ二つ。
- 三、児童の為のトイレ二つ、三つ。
- 四、児童各自の衣類を置く区隔（タテマ）したる押入（児童数だけ備ふる事）。此は病気の伝染を予防する上に必要なり。
- 五、食堂として用ふるキッチンを適当に清潔に作る事。
- 六、児童の為めのベッド又はカウチ。
- 七、水飲み場（現在、宮小児園にて用ひ居る tin cup は法令違反なり）。
- 八、卓子、椅子等児童の常に接触する家具器具等は少くも一週二回石鹼水にて洗ふ事（伝染病予防）⁽¹⁸⁾

市衛生局の命令を受けた宮武は、提示された条件に準じて小児園の継続をはかるため、託児者（父母）の代表および

教会代表者を招き、独自に後援会を組織し、改良に必要な資金一五〇〇ドルの募集をはじめたが、見通しは決して明るいものではなかった。⁽¹⁹⁾

(2) シアトル小児園維持会の発足

託児父母による請願署名　事態を重く見た父母は、一九二五年六月二九日、請願署名を北米日本人会に提出し、小児園の閉鎖問題が単に父母や宮武個人の問題ではなく、日本人社会全体の問題であることを強調し、以下のように北米日本人会の方策を強く懇願した。

謹啓　宮武氏の小児園存廃問題突発以来既に数ヶ月、其の間州当局と市衛生課との同園に対する態度と同事業経営に関する注文の真意の存する所誠に捕捉しかねる者之あり、為めに吾等父兄にありても遂に問題に関する善後と去就の程も決しかね居候折柄、最近突然市衛生局より来月を以て同小児園閉鎖の嚴命に接し、園主宮氏は此の際断然と其業の経営を断念する意志固きものある赴きに候も斯くては吾々在留民の生活上重大なる結果を見る事明らかにして目のあたり誠に憂ふ可きものもあり、父兄は直ちに何等かの方法を講じ度も問題は父兄の個人問題の如く事業は宮氏の個人事業の如くにして然も實際は同胞一般の社会的一大問題なるを以て焦眉に迫る本問題の善後に就いては将来とも貴会とも協力して何らの方策を講ずるを至当かと存じ、茲に事態に関する本指導に預り度父兄連署を以て此の段懇願仕候　敬具

千九百二十五年六月二十九日

北米日本人会　御中⁽²⁰⁾

北米日本人社会会部部长竹内幸次郎の報告（七月九日の臨時社会部会）によれば署名は四九名であったというが、今日JANA史料に残っている署名用紙には（多くの抹消、加筆の跡があり、判然としない箇所もあるが）大人の名で六五名、子供の名で一七名分の署名を見ることが出来る。閉鎖勧告がされた当時、宮小児園に子供を託していた父母の数は不明だが、各家庭から子供を一人ずつ託していたとしても一〇〇人の子供で一〇〇家族となる。大人の署名が六五名ということは、宮小児園に子供を託していた父母の約三分の二に相当する。決して少なくない数である。

シアトル小児園問題相談会　父母の請願署名を重く受け止めた北米日本人会は、労働、教育、社会の各役員ならびに役員を集め、七月七日、父母代表者を交えた協議会を開催した。そこで宮小児園とは全く別の小児園を発足させることとして、以下の方針が決まった。

シアトル日本人小児園（宮小児園のこと―坂口）は市衛生局より六月三十日限り閉鎖の命令あり。其後交渉の結果、一週間の延期を許されたるも永久に許さるべきものに非ざるを以て善後策を相談攻究したる結果、小児園後援会を組織し経営する事に決す。

- 一、後援会の組織は北米日本人社会部が担当する事。
- 一、小児園は宮武氏の手を離れて独立経営する事。
- 一、後援会組織完成する迄凡向ふ三ヶ月間シアトル小児園を現在の儘に置く事を衛生局に交渉する事。
- 一、小児園を後援会の手に渡す事に就いては宮武氏は異議なき事を言明す。

この決定に従い北米日本人会会長奥田平次は七月八日、シアトル市衛生局に対して宮小児園の閉鎖を九〇日間延期してもらおう請願書を発した（原文のまま抜粋）。

After due consideration we accepted and decided to remove the nursery to the Japanese School

building at 16th Ave. so and Weller St., they are building a new addition for which contracts
let July 7th, building to start July 14th and finished within 90 days.

When the new addition finished we may able to get use of the part of old building which is
ample for our purpose, properly fitted and asked by you.

Therefore, we ask you to allow the present place to continue till the school building is finished.
We are anxious to get away from present condition but this is the only means we can think of.

九〇日間の延期理由は、ウェラー街一四一四に増築中であるシアトル国語学校の新校舎完成までに九〇日かかるため
というもので、新校舎が完成すれば、旧校舎の一部を借りて小児園を管もうとしたからであった。

シアトル小児園維持会の発足 ついで七月九日、臨時社会部会において社会部が小児園維持会の産婆役となるこ
とが決まり、一七日実業倶楽部において小児園維持会組織相談会が開催された。そしてこの日、正式にシアトル小児
園維持会が発足したのである。同相談会はシアトル小児園維持会会則を決め、役員を選出。会長には北米日本人社会
会部部长で大北日報社長である竹内幸次郎が、副会長には安部清蔵(日本人組合教会牧師)、会計に小倉康性(仏教
会開教使)が選ばれた。この他に監督二名、評議員一〇名を選出した。シアトル小児園の英語表記はローマ字のまま
The Seattle Shoni Enとした。

さて、このように小児園設立にむけて日本人社会はすばやい動きをみせたが、こうした日本人側の動向をシアトル
市当局はどのように見ていただろうか。JANA史料に残されているシアトル警察局女性保護課調査官(Woman's
Protective Division - Seattle Police Department Office of Superintendent)の報告書はこの点を知るひとつの

手掛かりとなるだろう。

シアトル警察局女性保護課調査官の報告書とは、シアトル市長エドウィン・ブラウン (Edwin J. Brown) の要請を受けた同調査官による宮小児園の実態調査報告で、宮小児園の劣悪な環境を確認するとともに、すでに同小児園が日本人教会および有力者の監督下にあること、ならびに市衛生局が新園舎が完成するまでの九〇日間第一二街の現地での託児業務を許可したことを確認したと報告したものである。その全文は以下の通りである。

Woman's Protective Division - Seattle Police Department Office of Superintendent

July 28th, 1925

Edwin J. Brown

Mayor, City of Seattle

Seattle, Wash.

Dear Sir:---

As per your request of July 15th, we inspected the Japanese Day Nursery located at 416-12th

So.

The rooms were clean, but nothing provided for the real comfort of the children. Only one bed and this was a home made box affair. These children are, with exception of four or five, all of the age when they should have an afternoon nap. The playground in the rear is not fenced in, making it easy for the children to get out on the street and under passing automobiles. It is a

place devoid of every comfort and convenience.

In conferring with Mr. Frasch of the Health Department, he stated conditions had improved greatly in this home since they had threatened to close it up. The Health Department have taken the matter up with prominent Japanese Church people and business men and have advised them that if they wish to run a Japanese Day Nursery it must be governed by the same rules that apply to the Seattle Children's Day Nursery on Broadway. This they have agreed to do and to take it out of the hands of Mr. Mea, the Japanese who now runs it, although they will employ him at a salary to run the place, under their direction,

With this understanding the Health Dept. has consented to grant them permission to continue the school at its present locality for ninety (90) days, when their new quarters will be ready for occupancy.

The Japanese homes of children who attend this school which we visited were clean and comfortable, and much better than the conditions in the day nursery.

Respectfully yours,

Mrs. W.E.HARRIS, Supt.

by J.E.BRIGGS

Investigator

K.M.SLUSSER

(28)

Supervisor of Dances.

シアトル市内にあって一マイノリティにすぎない日本人社会の小児園問題に対して、市当局がこれほどまでの査察網を広げていたことは留意されるべきだろう。一九二〇年代のアメリカニズムと幼稚園政策が密接に連動し、日本人社会の頭上にまで覆い被されていたことをうかがわせる史料である。

3 シアトル小児園の開設

(1) シアトル国語学校の校舎を借りて

国語学校との協議　宮小児園に替わる新たな小児園の設置を決めた北米日本人会が、その一時的な設置場所として校舎増築中の国語学校校舎を予定していたことは既にみた。そのうえ校舎新築工事が完了するまでの九〇日間、宮小児園で託児業務を継続させてもらうよう市当局に請願し、許可を得ていた。そしてその間に北米日本人会社会部が「産婆役」となりシアトル小児園維持会が発足したのであった。

市当局と日本人会との間でこうした重要な取決めがなされていたにもかかわらず、シアトル国語学校と小児園の間では校舎借用について正式な交渉はなされていなかった。国語学校側の正式な了承を得る前に北米日本人会ならびに小児園維持会は、市当局による強制的な宮小児園の閉鎖をまぬがれるため、いわば見切り発車的に国語学校校舎の借用を予定していたのである。国語学校側との正式な交渉は一九二五年八月一三日に始まり、小児園・国語学校両幹部による協議の結果、校舎の借用条件として以下の諸点が決まった。

- 一、明後年三月まで現在の校舎のメーン・フロア四室を貸すこと
- 二、レントを要せざること

三、チャニター、水代等実費を申し受けること

四、学校本位なれば小児園を併置したる為には学校事業に差支を生ずることを発見せば併置を断ること⁽²⁵⁾

校舎の借用は永久的なものではなく、二年間という期限付きであった。校舎は国語学校第一期校舎のうち階下教室二間と男女生徒のトイレ、同第二期校舎では階下二間、第三期新築校舎ではキッチン⁽²⁶⁾の使用が認められた。

この校舎提供条件は同年八月二八日開かれたシアトル国語学校総会において異議なく可決され、「この問題は全部円滑に進捗した」⁽²⁷⁾。

父母の要求 国語学校による校舎の一部提供が正式に決定された二八日、小児園維持会は遊戯場設備費、小児用ベッドなどに要する費用七三五ドルの補助を北米日本人会に請願すると、⁽²⁸⁾ 日本人会社会部は翌日、「新設のシアトル小児園に対し金六百弗を設立費の一部として補助すべき事」を満場一致で可決した。⁽²⁹⁾ こうしてシアトル小児園は一〇月上旬の開設に向け、家屋と設備の面においてワシントン州幼稚園協会および市衛生局が求める基準を満たしていた。残る課題は託児時間や経営理念などのソフトな面であった。

九月二〇日、小児園父兄会で託児料、託児時間等の協議がなされ、託児料金については経常費の財源を捻出する方法として「託児料一人に付一ヶ月平均七弗と成し機宜に応じ此れを変更する事」で一致した。この時、父母より「今日迄各父兄が他の幼稚園より比較的料金高き宮小児園に託児したる理由は長時間託児し父母の便宜なりし為にして此点十分考慮あり度き旨」陳情があったと議事録に残されている。父母が宮小児園に期待していたこと、そして新たに設立される小児園に父母たちが期待したことの第一は、父母の便宜をはかってもらえる長時間託児であった。この要求に対して小児園維持会会長の竹内は「勿論、児童の保育、衛生上に重きを置くと同時に父兄の便宜を計るべきである旨」⁽³⁰⁾説明していた。

国語学校との交渉によって施設の借用をはかり、父母との協議で彼らの便宜を満たすことを確認したシアトル小児園は、一九二五年一〇月六日、国語学校内に開園された。

(2) シアトル小児園の内実

開園一週間の状況　ここで開園後一週間の状況をみてみよう。『大北日報』は小児園の様子を以下のように報じている。

産婆役たる北米日本人会社会部の手を離れ父兄を中心とする維持会後援の下に独立したシアトル小児園が国語学校内に始業せられて以来既に一週間を経過したが日を経るにつれ設備も順を追ふて進み園児も現在男児五十六名女子四十一名計九十七人を算するに及び尚日々増加しつつあり。同園は広大な園児収容一室に寝台二十五個を据へた寢室の外に事務室と台所を備へ屋外の運動場は百四十六坪遊戯機械を備へ真に子供の樂園たる名を恥かしめぬ理想に近かきものである。⁽³¹⁾

九七名の子供たちを世話する職員は、主事松藤久吾、保育担当宮武で、それに芦田、平林、松藤、中島の四人の女性が保母として保育に当たった。

懸案の託児時間は、九月二〇日の父母相談会の際、朝七時より夕方六時過ぎまでとされていたが、⁽³²⁾開園一週間後の時点では登園午前七時半、九時、一〇時半、退園午後四時、五時、六時とフレキシブルな時間が設定された。父母の求める託児時間にきめ細かく応えようとした姿勢がうかがえる。

事務室の一角にはピアノと並んで菓の棚が設置され、軽いケガの応急手当ができるとともに、井出欽一、鈴木準吉両医師を顧問医とし、週一回検診をおこなうこととした。新設のキッチンには正午のランチ、間食の菓子、一週二回のスーブの献立が張られ、給食設備も整った。弁当を持たずに来る子には一日一〇セントの昼食料を徴収し給食を出した。託児料金（月額）は二歳児九ドル、三歳児八ドル、四歳児六ドル、五歳児五ドルと託児児童の年齢に応じた料金が設定された。平均七ドルである。兄弟姉妹を二、三人と託児する父母のためには二、三割引の特典が設けられた。⁽³³⁾

父母の職業 このように開設された小児園にどのような父母が子供を託していたのだろうか。宮小児園に子供を託していた父母の職業に関する実態調査をもとにこの問題を考えておこう（付表参照）。同調査は、宮小児園に閉鎖問題が持ち上がった一九二五年七月、北米日本社会本部が独自に調査したものだが、宮小児園に託されていた子供の相当数がシアトル小児園に移ったと考えられるので、小児園と関りをもった父母の実態を知る貴重な手掛かりである。氏名のはっきりしている父母の総数は六七名（このうち六名については子供の情報が不明）、二名が寡婦である。

北米日本人会員は二三名、非会員四名。三分の二は非会員であった。職業では理髪業が父母合わせて一名と最も多く、ついでホテル業従業員一〇名、洋食店従業員九名、洗濯業、マーケット働きの各五名と都市部でのサービス産業に従事するものが多い。所得水準まではわからないが、中には従業員を雇い洋食店やグロッサリーを経営する者もあり、必ずしも低所得者層が多いとはいえない。子供の数は二、三人という家庭が最も多く、そのすべてもしくは一人、二人を託児してもらっていた。上述した父母相談会での発言にもあったように、父母の要求は、学校に上がる前の三〜五歳児の面倒を見てもらっているあいだ、心置きなく仕事に従事できることであった。その意味で他の幼稚園より託児料金が高くても良しとしていたのである。

「健康第一」主義 開園一ヶ月後、収容児数は九三名となり、五歳児が最も多く三六名であった。そのため託児

料の平均も五・五〇ドルとなった。保育方針は、ベリーゲザート公立小学校(Bailey Gatzert School)の校長メーハ
ン(Ada Mahon)の助言もあって、児童の健康と善習に重きを置き幼稚園式の教育は第二とするものであった。⁽³⁴⁾

開園九ヶ月後には收容児童も一一九名に増えた。その年齢別内訳は一歳児(特別)一、二歳児七、三歳児三二、四
歳児二六、五歳児五三であった。

同園創立当時は健康不良児多く皮膚病児も少なくなかったが食事を精選し野菜その他の児童に必要な栄養分を
与へ睡眠運動等に注意の結果、健康不良児は殆ど皆無となり見るからに丈夫な児童が多い⁽³⁵⁾

夏期は殊に戸外運動を奨励し一週二回は自動車にて海浜に送り数時間自由に遊ばせてゐる。(中略)同園は内部
の整理と係員の熟練とともに漸く社会に認められその標語の健康第一は他の教育主義に比して児童の将来を利益
する処多く公立学校入学後成績がよいと学校当局者に賞賛されてゐる。同園では今年九月入校期に公立学校へ送
る多数の園児の成績に興味を持つてゐると⁽³⁶⁾

こうして小児園が掲げた「健康第一」の標語は着実な成果をあげていた。

財政状態 小児園は、創立するにあたり設備費や送迎用自動車の購入資金などで約二〇〇〇ドルの負債を抱えて
業務を始めたが、託児料だけでは毎月一〇〇ドル余りの不足を生じるため、一九二六年一月から北米日本人会社会部
より月額五〇ドルの補助を受けた。⁽³⁷⁾その後、小児園の経営は「健康第一」主義の成果も評価され、託児数も増加した
ことで経営は順調となった。ただし園児が公立幼稚園や小学校に入る九月期は託児数が減少するため、収入も減少す
るといふ増減をくりかえした。創立当初一年の会計収支を示したのが表4である。一九二六年一〇月には創立当初の

負債を返済するため演芸会を開催し、出演者への謝礼金を差引いた残金を負債の返済にあてていた。⁽³⁸⁾

(3) シアトル小児園の新築移転とその後

園舎新築 国語学校の校舎借用期限も残すところ八ヶ月余りとなった一九二七年一月二七日、小児園は総会を開き、満場一致で園舎新築を決定した。⁽³⁹⁾ 一月三一日には日本館において実川延十郎一座による小児園新築資金寄付金芝居が興業され、小児園新築の話題作りに興を添えた。三月には五名の建築委員会（奥田平次、伊東忠三郎、有馬純義、神部利治、天野正十九）による敷地調査もなされ、移転準備は着々と進んだ。

一九二七年二月四日、シアトル小児園はウエラー街一四一四の国語学校敷地内からメイン街一〇二〇の新園舎へ移転した。オープンハウスの模様を『大北日報』は「意外の好天気」に三百五六十人の参観者あり。維持会役員及職員は「一々案内をなし食堂にて茶菓を饗した。遊戯場、食堂、寝台、便所等総て市衛生局監督の下に設備されたものであり又た庭園の戸外遊戯もよく整ひ参観者は何れも満足を表した」と伝えている。⁽⁴⁰⁾

オープンハウスに列席した『大北日報』の記者梧街・中島勝治はコラム「別口雑記帳」で、新築された小児園を「理想の園舎」として次のように

表4 シアトル小児園会計収支（単位：ドル）

年	月	1925年11月	1926年7月	1926年8月	1926年10月	1926年11月
収	入	502.50	820.10	861.70	647.60	658.96
支	出	608.00	731.33	812.05	597.94	612.76
計		105.50	88.77	49.65	49.66	46.20
創立費負債残高		1,953.52	648.00	558.42	197.62	197.62
典	拠	JANA ③-518	『大北日報』 5109	『大北日報』 5148	『大北日報』 5189	『大北日報』 5220

(注) 収入は「別途会計収入」(寄付金、演芸会収入等)を含まない。

紹介している。

日光の潤沢と空気の清潔と土地の乾燥とは児童保健の三大条件だ。シャトル小児園はファーストヒルの頂上、スミスビルデングと対話が出来るやうな高台にその園舎を購ふた。

日光は朝から夕まで恵みの光を園舎の窓に差し込む。百二十五呎四方の広い敷地に大きな栗の樹やひばりやハリーなどの常緑樹や落葉樹が弥が上にも空気を清めてゐる。

(中略) 二つの大きな遊戯室の後ろに二室の食堂とキッチン。二階の二室は小供の寝室。二十ばかりの可愛らしいベッドにシーツやピローや毛布は綺麗で、明るいルームに塵ひとつない。

食堂の横は新しく建った小供用の便所と水飲場。男女別々に分ち、床はコンクリート。清潔法に叶つてゐる。

同所は裏の運動場からも出入出来るやうになつてゐた。

広い運動場にはブランコ、スライド、扱ては屋根つきの大きな砂遊場も設けてある。「高台のせいかな雨が止むと直ぐに乾くので、子供を戸外で遊ばせられます」と保母の説明。

(中略) この日參觀者の総員三百五十人。意外に沢山なお客と関係者は喜んでゐた。どうか小児園を同胞児童の樂園たらしめたい。⁽⁴⁾

新しい園舎が、ワシントン州幼稚園協会ならびにシアトル市衛生局から示された厳しい設置基準を十分に満たしていたことがうかがえる。メイン街一〇二〇番はエリオット湾とワシントン湖に挟まれた南北に細長い街シアトルの南端部ほぼ中央に位置する高台で、シアトルの名所スミスタワーを見下ろす地にあつた。

(子供二人をつれてシャトル小児園へと出掛けました) 歩を進むるに従ひ私共の住居附近とはちがひ道路さへ一階級上のやうな気がして気持よくテリー街まで参りました。

あたりは住宅区域とていとも静かにしかも高台の事とて土地は燥き得も言へぬ心地にて、園舎を一瞥しますとワシントン街あたりでは見る事も出来ない立派な庭木が十幾本に行儀よく植えられ一見私共労働者の住居とは別天地の思ひがしました。

園内に入りますと御説明を伺ひつゝ遊び場、食堂、キチン、便所と拝見しましたが、何処も何処も綺麗に清められ、設備の完全せるには一驚を喫しました。

次に二階を見せて頂きましたが、此処は寢室で、見るから可愛らしいベビーベッドが整然と列べられ、空気の流通光線と申分なき理想的の寢室に天使の如き幼児のすやすやと眠れる様は如何ならんなど思ふだに天国の様だと実にうれしく思ひました。

運動場も見よとの事にて子供の手を取りつつ庭へ下りますと私の手をふり切る様にしてブランコに飛び乗り一生懸命で危いと思はるゝ程に操って夢中になってゐます。此処も室内と同じく何もかも至れり尽せりて真に理想的小児園とはかゝる処をいふならんと思はれました。⁽⁴²⁾

これは小児園を参観した「一園児の母」の感想である。当時、シアトルに在住する日本人の多くはエリオット湾へと傾斜していくシアトル市街地の南端ワシントン街、メイン街、ジャクソン街の五〇番台周辺に集住しており、そこはキングステーションやユニオンステーションにも近く、場末の繁華街という観をなしていた。また周囲にはかつて「ピンクカーテン」と称された歓楽街もあった。こうした日本人街を見慣れているものからすれば小児園の設置された高台は別天地と映ったのだらう。

小児園が設置された場所は元々、仏教会（仏教青年会）、仏教婦人会の敷地⁽⁴³⁾で、近くには日本人組合教会（1923 Main St.）⁽⁴⁴⁾、美以教会（1302 Washington St.）もあり、日本人移民にとって一種の文化ゾーンを形作っていたところであった。小児園と同番地には仏教会日曜学校、日本語中学校、ロータス倶楽部など仏教会関連団体があった。移転してから半年たった一九二八年六月二四日、小児園園庭でバザーが催され、『大北日報』はその様子を

小児園の園遊会開かれ仏教及聖公両婦人会及びロータス青年会少女の料理になるすし、サンドウィッチ、ハツドドッグなどの売店は中々の売行きにて、来賓は三々五々園内の緑樹の蔭に孰れも広い庭園の設備を賞せぬものはなかつた。午後六時の閉会までに約千人の来会者あり御馳走は早くも売切れの盛況⁽⁴⁵⁾だった。

と伝えた。『大北日報』ではこの記事以降シアトル小児園に関する報道がめっきり少なくなった。このことは、記事にならないほどシアトル小児園が日本人社会にあってあまりにも日常的な存在になってしまったことを物語っている。シアトル・タマ小児園 一九三二年一〇月一日、シアトル小児園は宮武のタマ小児園と合併し、シアトル・タマ小児園となった。宮武はシアトル小児園の設立当初、保育担当職員として同小児園の運営に従事していたが、自らの理念に基づく小児園経営の念やみがたかったのだろうか、その後シアトル小児園を辞職し、一九二七年一月独自に「タマ小児園」(307 6th)を設立していた。しかし一九三二年託児数が減少したことを機に、シアトル小児園と合併し、シアトル・タマ小児園となった。

一九三二年二月現在の収容託児数はわずかに四八名。その内訳は一、二歳児（託児料九ドル）二名、三歳児（同七ドル）七名、四、五歳児（同六・五ドル）六名、公立学校放課後委託の学齡児童三〇名（内土曜日のみ委託児童約一〇名）それに弁当持参者の三名であった。⁽⁴⁶⁾

一九三〇年代になるとシアトル日本人社会の人口構成は、二〇代後半と〇～五歳児がともに五％程度と最も少なく、逆に一〇代前半の男女（全人口の一七％近くを占める）と四〇代以上の男女が最も多くなり、いびつなひょうたん型を示すようになる。⁽⁴⁷⁾これは二〇年代前半の日本人社会における出産ブームが一段落し、幼児人口が減少し始めた結果である。このため三〇年代の小児園は従来の幼児を中心とする保育から公立学校に通う、かつてのベビーブーマーを迎え入れる学童保育へとその性格と役割を変えていったのである。

むすび

本稿は、これまで本格的に論じられることのなかった一九二〇年代後半のシアトル日本人社会とその歴史的特質を考察するため、分析の対象に〈子供〉とりわけ「幼児」の問題を取り入れた試論であった。可能な限り基本史料を提示したのは、シアトル小児園をはじめ、多くの保育団体に関する研究が「未踏査」⁽⁴⁸⁾な分野であるためで、同時代史料に即し、事実の再構成を心掛けたことになっている。ここではシアトル日本人社会にとっての小児園設立の意味を示すことでむすびとしたい。

その第一は、シアトル小児園の設立はシアトルという都市部で接客・サービス産業に従事し、共稼ぎするという日本人一世という「親」たちのニーズを満たす取組みであったということである。小児園が設立された直接的な契機はシアトル市衛生局からの託児環境の抜本的改善という行政指導にあった。そしてこの点において小児園の保育方針はあくまでも〈子供〉が主とされ、〈子供〉の健康を増進することが第一の課題とされていた。この意味で小児園は、〈子供〉たちにとって理想の「楽園」であった。だが小児園を維持・運営していくうえでの論理は常に親の便宜をはかることが最大の課題とされていた。この論理は三〇年代になり、幼児人口が減りはじめ、学童が増え、小児園が事実上、学童保育所となったとしても変わらなかつた。小児園に期待された社会的役割が、シアトルで働く親たちの

利益、共稼ぎする日本人のニーズを満たすことにあったからである。

第二はホスト社会との共存をはかるための十分条件としてシアトル小児園が位置付けられていたことである。日本人社会はホスト社会（シアトル市衛生局、ワシントン州幼稚園協会）が推進するアメリカニズムの一環としての幼稚園政策ならびに行政指導を可能な限り受容し実現しようとした。それは排日要因とされかねない多くの幼児問題（健康管理、劣悪な幼児教育環境、ストリートチルドレンなど）を主体的かつ積極的に除去・改善することで、ホスト社会の要求を受入れうる良き隣人たること、隣人になりうる能力があることを示そうとしたからであった。この意味で、シアトル小児園の設立運動は、一九二〇年代後半に日本人社会で展開された一連の社会事業・社会運動——共同募金運動や児童の健康促進・伝染病予防キャンペーン、結核撲滅運動などと通底する取組みであったと位置付けることができる。この点においてシアトル小児園の設立は、所与の条件下で可能な限りの質的充実を図るという二〇年代後半の日本人社会にみる新たな定住戦略の典型的なケースであった。

第三に、小児園は小児園維持会を生み財政補助を担った北米日本人会、シアトル市当局との交渉ならびに宮小児園の救済に尽力したキリスト教会、シアトル小児園に建物と敷地を提供した国語学校と仏教会など、日本人社会が三〇年余りにわたって築いてきた多くの団体、組織力が結集されたところに生まれた団体である。一九二〇年代後半、日本からの移民が全面的に禁止されていたため、日本人社会の多くは市民権を持つ二世の成長に自らの将来を託すようになっていた。その思いが既存の諸団体による横の連帯を強め、シアトル小児園の迅速なる設立を支え、一般在留民からの寄付金や義援金を結集させる推進力となっていた。この点において、シアトル小児園は日本人社会というエスニック・コミュニティの中で三〇年来育まれてきた共同性の上に新たに築かれた社会的結合の産物であり、ホスト社会と日本人社会の双方に開かれた団体であったといえるだろう。

- (1) ユージ・イチオカ『第二世問題』一九〇二年〜一九四一年——二世の将来と教育に関して変遷する一世の展望と見解の歴史的考察——(同志社大学人文科学研究所編『北米日本人キリスト教運動史』PMC出版、一九九一年)。
- (2) 拙稿「移民のナショナリズムと生活世界——シアトル日本人社会形成小史——」(『立命館言語文化研究』第五卷第五・六合併号)参照。
- (3) 拙稿「北米の日本人移民と二つの国家——外国人土地法との闘いを中心に——」(『ヒストリア』第一四五号)参照。
- (4) 『大北日報』第三九八八号、一九二二年一月一四日。
- (5) 『教界時報』一九二二年二月二四日。
- (6) 『大北日報』第四五五六号、一九二四年八月二八日。
- (7) 『大北日報』第三七六六〜三七六九号、一九二二年一月一八〜二一日。
- (8) 外務省史料『在外本邦人社会事業関係雑件』(15-0-0-3)。
- (9) 同上。
- (10) JANA Acce.No.1235-2, Reel No.3, 186. 以下 JANA③—186-を略記し、JANA Acce.No.1235-2, Reel No.3 = ③の1—186にコト目所に所収されていることとする。
- (11) 前掲『在外本邦人社会事業関係雑件』。
- (12) 宮小児生「野辺地天馬氏を迎ふ」(『大北日報』第四八一七号、一九二五年七月九日)は「野辺地天馬)氏は僕と郷里は同じで盛岡を出ては東京にのみ住居せられ僕は浮雲の如く今日は西明日は東と定まらぬ世渡りをなせど……」と述べている。
- (13) 『大北日報』第四六六〇号、一九二五年一月五日。
- (14) 『大北日報』第四五四九号、一九二四年八月二〇日。
- (15) JANA③—573.
- (16) JANA③—573〜574.
- (17) JANA③—235〜241.
- (18) JANA③—580.
- (19) JANA③—245.

- (20) JANA③—546～547.
 (21) JANA③—550～551.
 (22) JANA③—549.
 (23) JANA③—603～609.
 (24) JANA③—575.
 (25) 『大北日報』第四八四八号、一九二五年八月一四日。
 (26) JANA③—587～588.
 (27) 『大北日報』第四八六一号、一九二五年八月二九日。
 (28) JANA③—589～590.
 (29) JANA③—263～264.
 (30) JANA③—616～618.
 (31) 『大北日報』第四八九八号、一九二五年一〇月一三日。
 (32) 『大北日報』第四八九九号、一九二五年九月二日。
 (33) 『大北日報』第四八九八号、一九二五年一〇月一三日。
 (34) 『大北日報』第四九一六号、一九二五年一月四日。
 (35) 『大北日報』第五〇八三号、一九二六年七月三日。
 (36) 『大北日報』第五一〇九号、一九二六年八月四日。
 (37) JANA③—275.
 (38) 演芸会の総収入五二二・二五ドル、総支出八六・一九ドル、差引利益四三六・〇六ドル。ここから出演者謝礼四七ドルを差引いた残金三八九・〇六ドルを負債返済に充当(『大北日報』第五一七三号、一九二六年一〇月一九日)。
 (39) 『大北日報』第五二五六号、一九二七年一月二八日。またこの日には役員選挙もなされ会長に奥田平次、副会長に池 聴水、会計に藤本利一が選出された。
 (40) 『大北日報』第五五一六号、一九二七年二月五日。
 (41) 同上。

- (42) 『大北日報』第五五一八号、一九二七年二月七日。
- (43) 『北米年鑑』第一(一九二〇年)「附録在米日本人住所姓名録」参照。
- (44) 『北米年鑑』(一九二八年版)「北米年鑑住所録」参照。
- (45) 『大北日報』第五六八六号、一九二八年六月二十五日。
- (46) 前掲『在外本邦人社会事業関係雑件』。
- (47) S. Frank Miyamoto, *Social Solidarity among the Japanese in Seattle*, University of Washington Press, *Seattle and London, 1984*, p. 38 Figure IV.
- (48) 在米日本人移民史研究、日系アメリカ人史研究においては、一九二〇年代後半の歴史的世界そのものが「未踏査の時期」(阪田安雄「戦後五〇年と日系アメリカ人史研究——語られない一九三〇年代——」『移民研究年報』創刊号)と呼ばれている。本稿は小児園研究を通じてこの「未踏査の時期」に足を踏み入れたものであった。

〔付表〕 シアトル小児園父兄住所姓名簿 (社会部調査作成)

日本人 社会員	職 業	県 別	父母姓名	子供数	託児男 (年齢)	託児女 (年齢)	備 考
○	(母) 理髪 (父) 洗濯	福 岡	N. K	2		文代(3)	
○	ホテル業	山 口	N. R	4	克己(5) 彦 (3)		
○	(父母) 理髪業	福 岡	T. K	2	治夫(5)		
○	(母) 理髪 (父) 洗濯	山 口	Y. R	2	克己(3)	秀子(4)	
○	洗濯業	和歌山	M. S	2	孝志(3)	美代子(9)	
○	理髪業	広 島	Y. S	2		文子(5) てる子(3)	
○	理髪業	山 口	S. J	1		綾子(2)	7月より託児中止
○	果実店	広 島	S. S	3		さち子(4)	去る6月中旬より宮小児園へ託し居らず
○	(父母) マーケット動	栃 木	O. G	3	三郎(4)		
○	郵便就勤	神奈川	K. K	1	和雄(2.6)		父は目下無職(7月21日)
○	ホテル業	滋 賀	O. J	2	友一(3.6)		
○	ホテル業	滋 賀	A. A	4	信良(5)	ひさゑ(3)	
○	グロサリー経営	広 島	M. I	2	勇夫(4.8)		
○	洋食店経営	愛 媛	N. K	1		幸子(1.6)	
○	洋食店動	愛 知	I. H	1		君江(2.6)	8月末一家帰国の予定

日本人 会会員	職 業	異 別	父母姓名	子供数	託児男 (年齢)	託児女 (年齢)	備 考
○	理髪業	福岡	O. H	3			子ども二人は在日本
○	商業銀行員	三重	N. N	1	定男 (4)		
○	洋食店経営	岡山	Y. K	1	勉 (4)		
○	ホテル業	広島	N. H	2	博之 (6) 文雄 (5) 利治 (3)		小学校通学中なるも退校後後宮小児園へ託
○	鉄道勲	滋賀	H. G	2			
○	ホテル業	広島	O. Y	2	善孝 (4.6)		
○	ソーミル勲	熊本	K. N	1		初枝 (5)	
○			I. Y				
	(父) ホテルポーター (母) チェーンパー勲	愛知	S. Y	2		まさ子 (3)	
	(父母) 理髪業	群馬	S. Y	3	房明 (2.11)		
	(父) 青物ペドララー (母) 手袋製造所勲	栃木	A. K	3	賢一 ()	かず子 (3)	
	果実店経営	滋賀	H. S	5	博 (4.2)	末乃 (5)	寡婦
	(母) 理髪業 (父) 田舎勲	茨城	S. H	2		みち (6)	
	ホテル業	広島	T. I	3			
	洋食店	佐賀	E. I	2	志郎(5)、満(4)		使用人3名
	飯屋	熊本	H. S	4	深 (4)		

日本人 社会員	職業	県別	父母姓名	子供数	託児男 (年齢)	託児女 (年齢)	備考
(母) ホテル業 (父) セクシヨン働	広島	S. T	2	寅雄 (4)			
洋服洗濯業	福岡	O. I	1	義正 (4)			
鉄道働	神奈川	T. K	2	春藏 (5)			元東京控主人、類焼のため失業、鉄道働 (7月21日)
ホテル業	愛知	A. Y	1	憲 (1.6)			
そば屋	熊本	U. Y	1	安成 (2)			
菓子職人 (さがみ屋就働)	大阪	I. N	2		しづ子 (7) ゆり子 (5)		しづ子は小学通学の送迎、ゆり子は9月より託児止。 South Park の人なるも出沙、左記の場所に約40日間滞在中、児童を託たる由。
元白人音楽店働き、無職	福岡	O. M	4	清 (5)			
家内働 (米人薬種店)	広島	H. K	2	稔 (6)			通学託児、9月頃帰国の予定
(母) 洋食店働	岡山	N. K	1		愛子 (1)		
マーケット働	岡山	N. T	3		百合子 (4) 撫子 (2)		全部3人の児を託し得るならば母も終日の仕事に就きたき希望なりと
マーケット働	鳥取	N. T	2		朱子 (4) 八重子 (2)		
洋服洗濯業	三重	S. T	3	宏一 (4.5)			
夏期中田舎働き、 冬期は一定の職なし	熊本	H. E	2				寡婦
洋食店働	広島	S. M	4		みちゑ (5.6)		
洋食店働	愛知	I. H	2	勇 (4) 俊男 (1.6)			8月末一家帰国の予定

日本人 会会員	職 業	県 別	父 母 姓 名	子 供 数	託児男 (年齢)	託児女 (年齢)	備 考
	グロサリー経営	鳥 取	K. Y	1	一雄 (5)		
	洋食店働	福 岡	H. R	3		文子(6)、愛子 (5)、貞子(3)	
	靴商	和歌山	K. K	3	秀男 (5) 利明 (3)		
	元地方へ日用品行商	熊 本	Y. K	1		敏子 (5)	
	キナリー働	熊 本	S. N	2	澄男 (5)		
	洋食店経営	愛 媛	K. T	1	高助 (3)		
	洋食店料理人	福 島	S. T	1	正 (4)		
	ホテル業	熊 本	M. K	5	猛 (5)、亨 (5) 双子		
	(父) 洋食店働 (母) 理髪師	神奈川	S. S	2	英二 (5)		他の一人は在日本
	(父) ガーナパー働 (母) チェンパー働		H. S	4		せい (2)	
	労働	高 知	S. T	3	治男(4.10)、衛 (3.7)、智(2.5)		
	洋食店		N. T				日本人会に対して誤解あり
	ジャンク働	滋 賀	T. C	2	正勝 (4.6) 長夫 (2)		
	ジャンク働	岡 山	J. M	2	藤 (3.6) 克己 (2)		
	古物商	山 口	A. S	3		文子 (6) 道子 (4)	文子、帰国入学のため、小児園へ託す
			K. Y				

日本人 社会員	職 業	県 別	父母姓名	子供数	託児男 (年齢)	託児女 (年齢)	備 考
			H. K				
	マーケット働	広 島	O. H	2		一江 (4)	
			O. S				
	家内労働	広 島	K. K	1		欠子 (4)	戸別訪問中にセスより託児ある旨申し出られ偶然に発見記入

(注 1) 本名簿は北米日本人社会社会部による1925年7月の調査。

(注 2) 姓名の表記はアルファベットの頭文字を姓、名の順とした。

(注 3) 子供の年齢で、3. 7とあるものは3歳7ヶ月を示している。

【典拠】 JANNA ㊸-595~601より複製。